

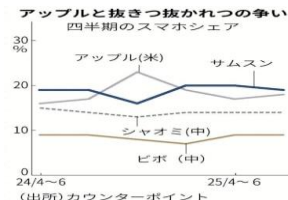
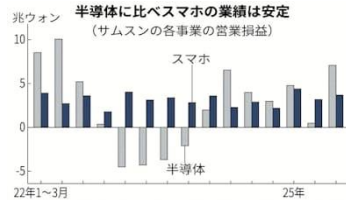
電子デバイス（ディスプレイ、半導体、電子部品、電池等）の市場、技術、業界動向を中心に

NEWS TOPICS (No. 132) 2025 年 12 月

越石健司

■ディスプレイデバイス（液晶・有機EL 他）・タッチセンサー・部材

□サムスン「三つ折り」で反攻 スマホ広げるとタブレット アップルに技術で対抗
2025. 12. 3



サムスンが発売する三つ折りスマホ（2日、ソウル）

韓国のサムスン電子は 2 日、同社初の三つ折りスマホを発売すると発表した。畳むとスマホの形だが、広げるとタブレットになる。スマホ市場は停滞感が漂うが、サムスンはスマホ進化の形のひとつとされる折り畳み型で技術力を示す。

□台湾イノラックス、ジャパンディスプレイとの提携終了 2025. 12. 5

パイオニアを傘下に収めたシンガポールの CarUX（カーユーエックス）ホールディングスの会長で、親会社のディスプレイメーカーである台湾イノラックス（群創光電）の洪進揚（ジム・ホン）会長 CEO は 12 月 4 日、ジャパンディスプレイ（JDI）との戦略的提携が終了したことを明らかにした。JDI は次世代有機 EL「eLEAP（イーリープ）」技術について、カーユーエックスとの連携も通じて事業化を図っていた。JDI は 2024 年 12 月、イノラックスおよびカーユーエックスと戦略提携契約を結んだと発表していた。

□AGC、化学強化用特殊ガラス事業撤退 スマホカバーなど 2025. 12. 8

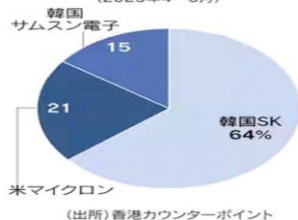
AGC は 8 日、電子機器のカバーガラスとして使われる化学強化用特殊ガラス事業から撤退すると発表した（ドラゴントレイル）。2026 年第 3 四半期に生産を終了する。中国勢などの台頭による市場価格の下落や受注の減少で業績が悪化していた。スマホや車載などの電子機器全般のカバーガラス向け製品で、高砂事業所で生産していた。

■半導体

□マイクロンが広島に AI 半導体新工場 1.5 兆円投資、国内入手容易に 2025. 11. 30

米メモリー大手のマイクロン・テクノロジーは広島工場に新しい製造棟を建設する。2026 年 5 月に着工し人工知能（AI）向けの次世代メモリーの出荷を 28 年ごろに始める。投資額は 1 兆 5000 億円で経済産業省が最大 5000 億円を補助する。

広帯域メモリー（HBM）のシェア
(2025年4~6月)






□世界の半導体、自国勢育成 EU は域内支援へ法改正

2025. 12. 2

中国台頭、念頭に世界の半導体産業の支援策が転換点を迎えている。欧州連合（EU）は主な支援対象を外国企業の誘致から域内企業の研究開発に転換し、数兆円規模の予算枠を検討し始めた。人工知能（AI）向けを除き半導体需要は軟調だ。中国の半導体国産化などが背景にあり、中国資本のネクスペリアを巡る混乱で経済安全保障も焦点となる。

各国の主な半導体支援と工場計画の見直し

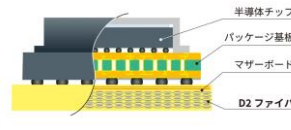
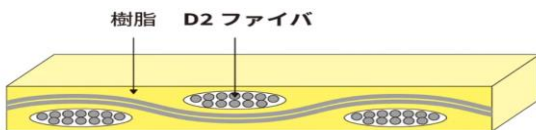
ドイツ	半導体産業に200億ユーロ
	米インテルが300億ユーロの計画撤回 米ウルフスピードが破綻で計画白紙に
フランス	電機産業に50億ユーロ
	米グローバルファウンドリーズなどの投資計画が停滞。計画凍結の報道も

米国	半導体産業に総額390億ドル
	インテルがオハイオ州の工場稼働を 2025年から30年以降に延期
	サムスンがテキサス州の工場稼働を 24年から26年に延期

□日本電気硝子、最先端半導体材料の低誘電ガラスファイバ「D2 ファイバ」販売開始

2025. 12. 2

日本電気硝子株式会社は、AI サーバーやデータセンターにおける高速・大容量通信を支える最先端半導体に不可欠な材料となる、低誘電ガラスファイバ「D2 ファイバ」を開発し、販売を開始する。



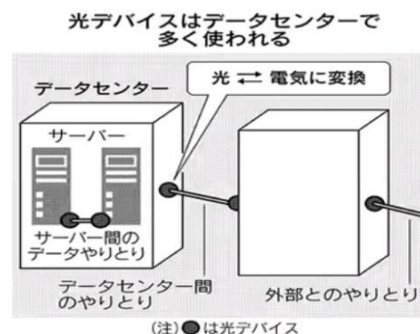
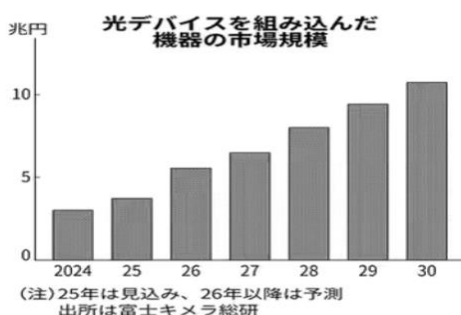
低誘電ガラスファイバ「D2 ファイバ」（プレスリリースより）

NEG の D2 ファイバは「第 2 世代」と呼ばれる低誘電ガラスファイバ。「Dielectric（誘電体）」に由来し、汎用のプリント配線基板用途で使用する E ガラスファイバよりさらに誘電正接が低く信号損失を抑える。D2 は、この「D」と第 2 世代を組み合わせたものを意味する。AI サーバー用マザーボード、高周波通信機器用基板、半導体パッケージ基板などに使われる。NEG の D2 ファイバの誘電正接は $0.0017 \tan \delta$ (@10GHz) で、低誘電特性（低誘電正接）、信号の伝送損失の抑制、通信の高速化・大容量化を実現し、AI サーバーやデータセンターの性能向上に貢献する。

□三菱電機、データセンター向け光半導体の生産能力 3 倍 AI 需要で

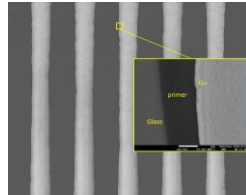
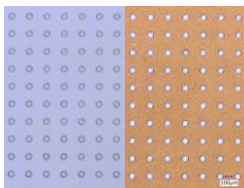
2025. 12. 3

三菱電機はデータセンターや通信基地局で使われる半導体を増産する。電気自動車（EV）市場の成長鈍化で需要が伸び悩むパワー半導体向け投資の一部を振り向けるなどし、2028 年度の生産能力を 24 年度比で 3 倍にする。人工知能（AI）の普及によって世界でデータセンターの設置計画が相次ぐ。EV の減速を AI 需要がカバーする。



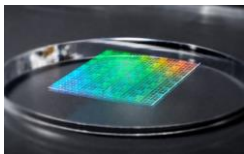
□世界半導体市場、1兆ドルに迫る WSTS、来年予測 データセンター投資が牽引 2025. 12. 3
 主要な半導体メーカーで構成する世界半導体市場統計（WSTS）は2日、2026年の半導体市場が25年予測に比べて26%増の9754億ドル（約151兆円）と過去最高になりそうだと発表した。1兆ドルの大台が目前に迫る。人工知能（AI）に使うデータセンター投資がけん引役となり、画像処理半導体（GPU）や高性能メモリーの需要が高まる。

□アキレス、貫通孔付きガラス基板への高密着めっき膜形成技術 2025. 12. 8
 アキレスは、同社独自のポリピロールめっき法を用いて、貫通孔付きガラス基板への高密着めっき膜形成を可能にする技術を新たに開発した。一般にガラス基板へのめっきで高密着性を得るには300℃以上の高温処理が必要とされているが、ポリピロールめっき法は低温・常圧のプラズマで密着性の高いめっき膜をガラス基板に形成できることが特長。



めっき処理前（左）→処理後（右）の貫通孔付きガラス基板外観 めっき処理後の貫通孔付きガラス基板断面拡大画像

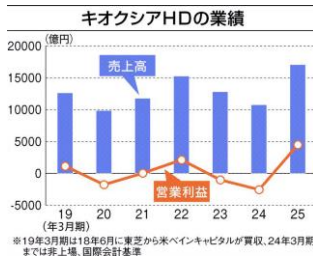
□1.4ナノ半導体、電力10分の1で製造 DNPとキャノンが27年実用化 2025. 12. 10



DNPが開発した1.4ナノ品向けテンプレート

大日本印刷（DNP）は先端半導体を消費電力10分の1で生産する技術を開発した。キャノンが手がける新手法の製造装置向けに、次世代の1.4ナノ品に対応する中核部材を2027年に量産する。人工知能（AI）半導体の製造コストが大幅に下がる可能性がある。現状、最先端の半導体を量産するには世界でオランダのASMLホールディングだけが生産する極端紫外線（EUV）露光装置が必要だ。EUV装置は1台300億円程度と半導体メーカーの投資負担は重い。これに対し、キャノンの「ナノインプリント」製造装置はウエハーにハンコを押すように回路をつくる。DNPは1.4ナノ世代まで使える微細なハンコに相当する回路原版「テンプレート」を開発した。これまでは2ナノなどの先端半導体には対応できなかった。テンプレートをつくる際には露光技術を使う。今回、材料の選定や条件設定を見直し、半導体の回路の密度を2倍にする「ダブルパターニング」と呼ばれる技術も使った。

□キオクシアHD AI需要で飛翔 「記憶の速度」覇権握る 2025. 12. 10
 キオクシアホールディングス（HD）が経営の第2ステージに立つ。2024年12月、東芝からの独立以来の悲願であった新規株式公開（IPO）を果たし、自らの成長戦略を描く段階に入った。成長ドライバーとして掲げるのが、AI（人工知能）だ。メモリー需要が爆発的に増えるAIに対し、NAND型フラッシュメモリーの大容量化と高速伝送技術を磨く。スマホ中心の「モバイルメモリーメーカー」から、AI時代を支える「AIメモリーメーカー」へ。その転換が本格化する。



キオクシアの四日市工場

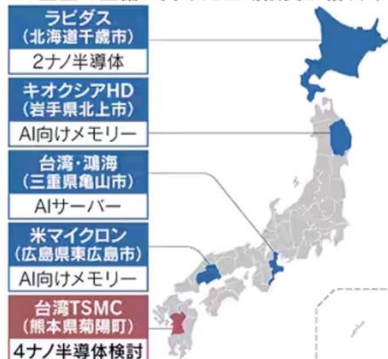
□富士フイルム、フィルム型感光性絶縁膜材で新ブランド 後工程向け **2025. 12. 10**

富士フイルムは、半導体後工程で保護膜などに使用されるポリイミドを中心とした感光性絶縁膜材料の新ブランド「ゼマテス」を立ち上げると発表した。先端パッケージング需要に対し既存の液型ポリイミドに加えて高信頼性・高性能なフィルム型を開発。早期投入により2030年度までに感光性絶縁膜材料の売上高を24年度比5倍に拡大させる。ゼマテスは再配線層（RDL）用や保護膜層用の液型ポリイミドや保護膜層用のポリベンゾオキサゾール（PBO）などをラインアップ。

□TSMC、熊本でAI半導体生産を検討 先端品「4ナノ」に計画変更 **2025. 12. 12**

半導体世界大手の台湾積体回路製造（TSMC）が熊本県内で10月に着工した新工場の計画を変更し、先端半導体の生産を検討していることが分かった。人工知能（AI）向けで主流となっている回路線幅4ナノメートルの製造設備導入に向けて調整を始めた。実現すればAI半導体の国内安定供給につながる。第一工場では12～28ナノ品の生産を始めた第二工場は当初6～40ナノ品の生産を予定していた。

AI基盤の整備に向けた工場投資が相次ぐ



TSMCが手掛ける主な半導体

回路線幅	主な用途
2ナノメートル	次世代のAI半導体やスマホ
3ナノ	最新のiPhoneなど
4～5ナノ	エヌビディアのAI半導体
6～40ナノ未満	自動車や通信機器、ゲーム機など
40ナノ～	産業機器など

□ノリタケ、先端半導体向け銀ペースト開発 作業時間5分の1 **2025. 12. 11**

ノリタケは11日、ガラス基板に垂直に穴を開け配線を形成する「TGV」用の銀ペーストを開発したと発表した。チップを積み重ねて性能を高める「3次元（3D）積層実装」された半導体パッケージ内の基板のTGVに充填し電気を通す。有力視されている銅めっきの技術と比較し、配線を形成する時間を約5分の1に短縮できる。

□ラピダス、22社が新規出資 富士通・京セラ・千葉銀など 半導体復権へ連携

2025. 12. 13 最先

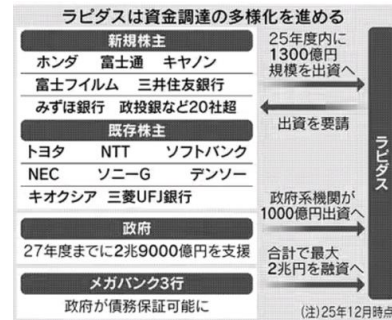
端半導体の国産化を目指すラピダスに、新たに22社が出資する。ホンダやキヤノン、京セラなどのほか千葉銀行などが株主に加わる。ソニーグループなど既存株主も追加出資する。株主は30社となり、ラピダスは2025年度に1300億円規模の民間からの出資にめどをつける。日本の半導体産業の復権へ体制が整ってきた。年内にもラピダスが各社と正式に合意し、26年3月までに出資を受ける。

ラビダスの株主は30社に

ホンダ	能美防災
富士通	アルゴグラフィックス
キヤノン	長瀬産業
富士フイルム	日本政策投資銀行
セイコーエプソン	三井住友銀行
ウシオ電機	みずほ銀行
京セラ	北洋銀行
JX金属	北海道銀行
大日本印刷	北陸銀行
北海道電力	千葉銀行
NXHD	肥後銀行

追加出資
既存株主

トヨタ	NEC
NTT	デンソー
ソフトバンク	キオクシア
ソニーG	三菱UFJ銀行



□ブロードコム、AI 半導体の黒子で脚光 設計でグーグルと協業 時価総額 2 兆ドル迫る 2025. 12. 13

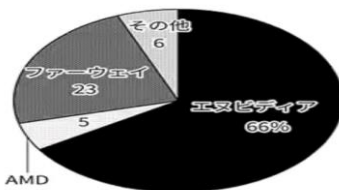
米半導体大手ブロードコムが人工知能（AI）半導体分野で頭角を現した。米グーグルと組んで独自半導体「TPU」の設計を支援している。成長期待から時価総額は 2 兆ドル（約 310 兆円）の大台が迫る。価格が高騰するエヌビディア半導体からの代替期待によってブロードコムが脚光を浴びている。



□中国、国産 AI 半導体推奨 米依存軽減へ、エヌビディア使用制限 2025. 12. 12

中国政府は国有企業が手掛ける人工知能（AI）のデータセンターの半導体調達で国内企業の製品を推奨する。トランプ米政権は米エヌビディアの AI 半導体「H200」の輸出規制を緩和すると表明したが、中国側は米国に依存しない AI のサプライチェーン構築をめざす。

中国のAI半導体市場のシェア

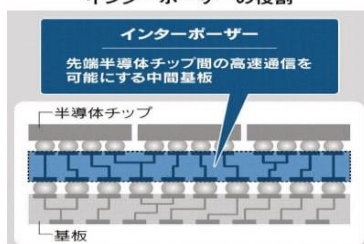


(注) 2024年
(出所) パンスタイン

□TOPPAN HD、次世代半導体部材を量産 旧 JOLED 工場に 400 億円 2025. 12. 16

TOPPAN ホールディングス（HD）は石川県内の工場に 400 億円を投じ、次世代半導体パッケージを量産する。年内に試験製造設備を設置し、2030 年度の量産を目指す。新潟工場にも 300 億円を投じ、現在使われている半導体部材の生産も増やす。生成 AI（人工知能）の普及で求められる高性能半導体の需要に対応する。

インターポーザーの役割



23 年に経営破綻した有機 EL ディスプレー開発・製造の JOLED（ジェイオーレッド）から取得した石川工場（石川県能美市）に試験製造ラインを設置する。30 年度の量産を目指す。新たに開発したデータ伝送の速度を 8 倍にできる中間基板（インターポザー）を組み込んだ半導体パッケージを生産する。新たに開発した中間基板は配線幅を従来の 4 分の 1 にあたる $0.5\mu\text{m}$ にする。消費電力は半減する。これまで中間基板のベースには主にシリコンが使われてきたが、ゆがみにくいガラスと樹脂に置き換えて大型化にも対応する。TOPPAN は次世代半導体向けのインターポザーで世界シェア 1 割を目指す。

□大日印、埼玉・久喜に TGV ガラスコア基板の新ライン

2025. 12. 16

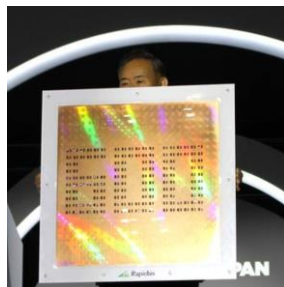
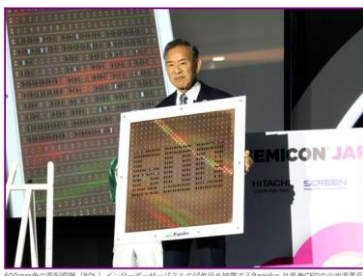
信頼性検証、28 年度量産

大日本印刷はパッケージ基板「FC—BGA」のコア材料である「TGV（ガラス貫通電極）ガラスコア基板」のパイロットラインを久喜工場内に新設し、順次稼働を始める。量産検証を行い、2026 年初頭に高品質なサンプル品の提供を始める。TGV ガラスコア基板は 28 年度の量産開始を予定し、30 年度に売上高 300 億円を目指す。DNP の TGV ガラスコア基板は、ガラスの厚さに対して貫通孔径が小さい微細な貫通電極を形成できる点が強み。パネルサイズは縦 510 ミリ×横 515 ミリメートルと比較的大型だが、平坦性と反りを生じさせない剛性を有する。FC—BGA のコア材料を従来の有機樹脂からガラスに置き換えることで、より高密度な貫通電極の配置が可能になり、マザーボードと半導体チップ間の安定的な電気接続を実現する。

□Rapidus、600mm 角インターポザーパネルを初披露 NVIDIA の受託にも意欲

2025. 12. 19

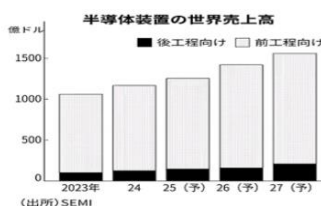
Rapidus 社長兼 CEO の小池淳義氏は「SEMICON Japan 2025」内のセミナープログラムに登壇。同社が掲げるビジネスモデル「RUMS（Rapid and Unified Manufacturing Service）」や前工程／後工程の最新の取り組みを紹介したほか、600mm 角の再配線層（RDL）インターポザーパネルの試作品を披露した。



□半導体、組み立て工程競う 微細化限界 AI 需要で技術革新

2025. 12. 18 半導体

半導体の国際展示会「セミコン・ジャパン 2025」が 17 日、開幕した。半導体を組み立てる「後工程」の技術革新が進み、富士フイルムやレゾナックなどの素材メーカーやディスコなど半導体製造装置メーカーの新技术発表が相次いだ。微細化が限界に近づくなか、人工知能半導体の進化を後押しする技術として後工程をめぐる競争が熱を帯びている。



□キャノン、ナノインプリントを年 10 台量産 27 年に宇都宮新工場で 2025. 12. 19

■EUVとNILの比較

EUV	NIL
ASML ・7ナノ以降の先端半導体では必須 ・世界で唯一ASMLだけが製造 ・ロジック、DRAMに適用 量産適用済み	キャノン ・一度に複雑な回路を形成 ・EUVより低消費電力 ・EUVとA _{RF} 液浸の一部工程を置き換え 顧客の利用状況 27年にも量産適用の見込み

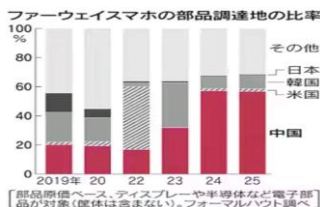
キャノンは露光装置に代わる次世代半導体製造装置「ナノインプリントリソグラフィ（NIL）装置」を2027年後半から量産する。28年にかけて年間10台の生産を目指す。9月稼働の宇都宮市の新工場で生産する。フォトマスクに相当するテンプレートはDNPと、レジストは富士フイルムと協力してきた。

□DRAM異例「値つかず」10月大口取引 大手生産縮小で不足 2025. 12. 23

半導体メモリーの一つ、DRAMの10月の大口取引価格の交渉が値段がつかない異例の事態となった。DRAM大手メーカーが指標品であるDDR4型の生産を縮小する動きなどを受け、供給が急激に減った。「交渉が成立しないのは初めて」（エレクトロニクス商社）という。DRAMの価格高騰を受け、一部のパソコンメーカーは値上げを発表した。今後もパソコン価格はさらに上昇しそうだ。

□中国、半導体供給網に厚み 2025. 12. 25

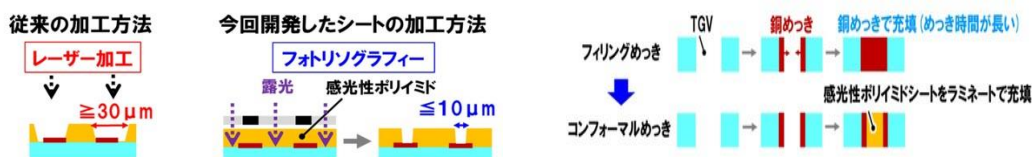
ファーウェイ、スマホ部品6割国産 米制裁機に技術急伸 中国の半導体の供給網に厚みが増している。米国の対中輸出規制を契機にCPU（中央演算処理装置）やメモリーなどの国産化が進み、華為技術（ファーウェイ）は新型スマートフォンで中国製部品の比率（金額ベース）を約6割に高めた。スマホで培った半導体回路の微細化技術を応用し、最先端の人工知能（AI）半導体でも存在感を高めつつある。



□ガラスコア基板の「割れ」と「コスト増」を克服する新材料 2025. 12. 24

微細加工とプロセスコストの増加を解決するポリイミドシートを東レが開発

東レは半導体製造工程で使用するガラスコア基板において、再配線層の微細加工と、貫通ビア電極（TGV）の樹脂充填を同時に実現するネガ型感光性ポリイミドシートを開発したと発表した。現在、サンプル提供を開始しており、2026年度の量産開始を目指して基板メーカーで評価を進めている。



□エヌビディア、ラピダスと協業 AI 基盤を活用 2025. 12. 26

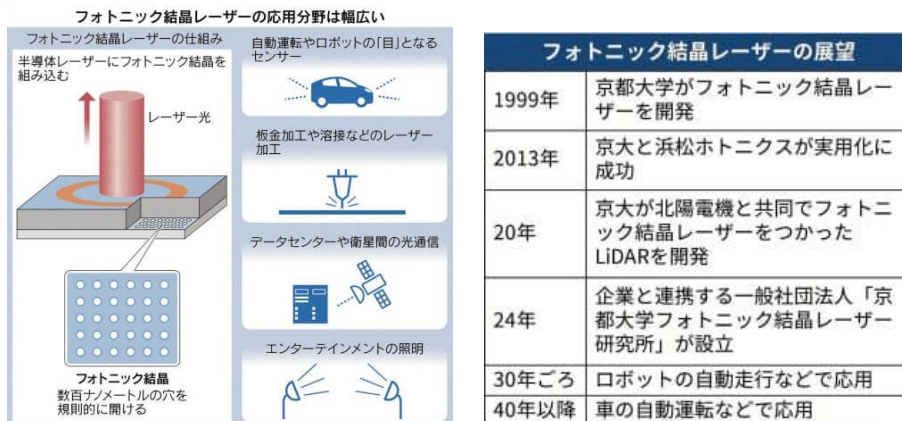
米エヌビディアはラピダスとAI分野で協力する方針を明らかにした。エヌビディアが持つAIプラットフォームをラピダスが活用して、AIシステムを構築する可能性がある。ラピダスは製造や設計において、AIを活用する方針。

■新技術、材料、電池

□自動運転の目 名刺サイズ

2025. 12. 2

京大開発、車やロボット用 センサー、世界最小に京都大学やセンサー製造の北陽電機（大阪市）は、ロボットの「目」として使われる高性能センサー「LiDAR（ライダー）」を従来の半分の大きさにする技術を開発した。名刺ほどの大きさで薄く、世界最小になるという。数年後にはロボットの自動走行向けの光源としての実用化、2040 年には車の自動運転での活用が期待される。



ライダーはレーザー光を照射し、反射してきた光を捉えて、人やモノの位置を把握するセンサー。40～50 年ごろには自動運転車の「目」として鍵を握る。京大の野田進特別教授が 1999 年に開発した「フォトニック結晶レーザー」を活用している。フォトニック結晶とは、結晶の中に数百ナノメートルの穴を規則的に開けることで光を制御できる物質。

□ソニーセミコン、2 億画素のスマホ向けイメージセンサーを開発

2025. 12. 2

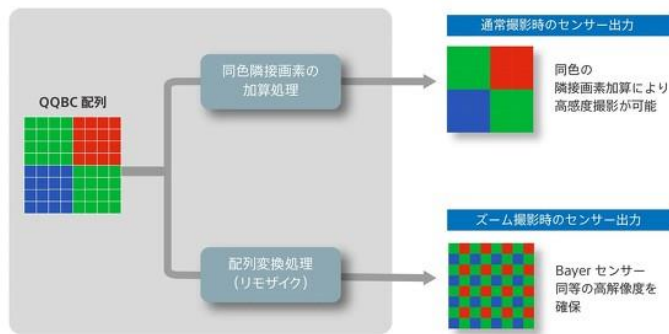
AI 技術内蔵で 4 倍ズームも高精細

ソニーセミコンダクタソリューションズが、1/1.12 型の有効約 2 億画素モバイル用イメージセンサーを開発した。高解像度と高感度を両立する「Quad-Quad Bayer Coding（QQBC）配列」を採用するとともに、AI 技術を活用した画像処理回路を新開発し、センサー内に実装した。

従来センサー（5,000 万画素）との解像感比較



さらにこの高解像度を最大限に生かすため、隣接する 16（4×4）画素を同色のカラーフィルターで構成した配列方式「Quad-Quad Bayer Coding（QQBC）配列」を採用。通常撮影時は隣接する 16 画素の信号を 1 つの画素相当として扱う加算処理によって、夜景や室内撮影などにおいても高い感度を維持する。一方でズーム撮影時には、配列変換処理（リモザイク）によって通常の画素配列に戻すことで、高い解像感を保った撮影が実現できるという。



QQBC 配列について

□2025 国際ロボット展／遠隔ロボ、制約超越 人の判断×作業力融合 2025. 12. 5

「2025 国際ロボット展」では遠隔操作技術の進化がより鮮明になっている。AI（人工知能）導入による完全自動化の実現は当面先となるが、現実解として遠隔操作で人の判断とロボットの作業力を融合する動きが進む。製造や建設、物流現場などで導入が加速しており、時間や場所の制約を超えた新しい働き方として定着する可能性も秘める。グローバルインフォメーションによると、遠隔操作の世界市場は30年までに現在の3倍以上となる27億ドル（約4200億円）に拡大する。

□国産透明PI フィルムが民間低軌道衛星の太陽電池保護膜で採用 2025. 12. 5

アイ.エス.ティは4日、透明PIフィルム「TORMED（トーマッド）」が、複数の民間試験衛星で太陽電池保護膜として実装され、1年以上の低軌道環境耐久テストをクリアしたと発表した。この結果を受けて、民間商業衛星に搭載されるシリコン太陽電池パネルでTORMEDの採用が決まったため、TORMEDの本格的な量産を2026年に開始する。TORMEDは、同社独自の分子設計技術により軽量性、耐放射線性、光学特性を実現した透明ポリイミド。

□ニコン、ペロブスカイト太陽電池などを受託開発 拠点開設 2025. 12. 5



曲がる電子機器向けの露光装置



フィルムを巻き取りながら露光を行う



ニコンが開設するラボの外観

ニコンは5日、神奈川県で工場型フィルム型の曲がる電子機器を受託開発する拠点を10日から稼働させると発表した。次世代太陽電池の本命とされる「ペロブスカイト太陽電池」などの試作品開発を、顧客から受託する。コストを抑えて試作品をつくりたい企業の需要をとりこむ。相模原製作所内に受託開発拠点の「S3S LAB」を開設する。施設内には新たに開発した「Roll to Roll マスクレス露光装置」を配置した。

□倉元製作所、ペロブスカイト太陽電池事業の新会社を設立 2025. 12. 8

倉元製作所はペロブスカイト太陽電池事業に関する権利義務を、新たに設立するKURAMOTO ペロブスカイトに承継させることを決議したと発表。ペロブスカイト太陽電池事業を子会社に移管することで、投資意向のある他企業との資本提携により、必要資金を当該子会社で調達しやすくするもよう。

□ヒト型ロボット、部品に商機 日本精工は新製品、販路開拓の動きも 2025. 12. 19

日本の部品メーカーがヒューマノイド（ヒト型ロボット）市場の開拓に力を入れている。日本精工はヒト型ロボットの関節や筋肉部分に使う新製品を 2028 年に投入する。ハーモニック・ドライブ・システムズは、センサーを内蔵した減速機の一般販売を目指す。技術力を生かし米中企業のサプライチェーン（供給網）に食い込みをはかる。



日本精工の駆動装置を腕に搭載したヒト型ロボット



ハーモニックはロボットの指向けの駆動装置を手掛ける

■カーエレクトロニクス

□日系車部品、インドに熱視線 2025. 12. 1

矢崎総業、「量」「質」両立へ人材育成強化 東プレ、中国から設備移管日本の自動車部品メーカーが成長著しいインド市場で攻勢を強めている。ワイヤハーネス大手の矢崎総業は事業拡大を機に現地社員への教育体制を強化し、小型モーター大手のミツバは同国初の研究開発（R&D）子会社を新設する。

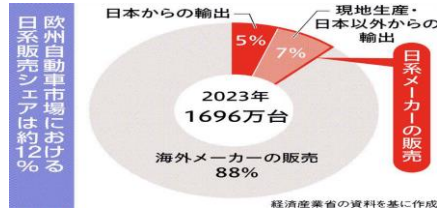


□EU、エンジン車の禁止見直し 日系、問われる変化対応力

2025. 12. 18

排ガス 9 割減の新目標

欧州連合（EU）欧州委員会が内燃機関車（ICE）の販売を2035年に禁止するとしていた従来の方針を見直す。製造時の二酸化炭素（CO₂）排出量を抑えた鋼材を用いたICEや、ハイブリッド車（HV）などの販売が一定数認められる。実現すればHVに強い日系メーカーや、中国勢との競争激化で苦戦する欧州メーカーに追い風となる可能性がある。各社は競争環境の変化への柔軟な対応があらためて問われる。



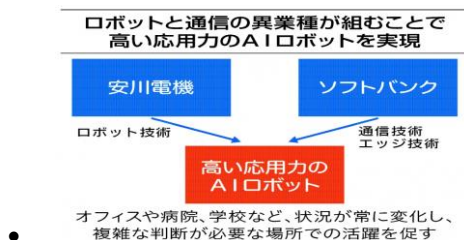
■通信

□安川電とソフトバンク協業 日常空間に自律ロボ

2025. 12. 1

次世代通信で迅速処理 フィジカルAI 基盤構築

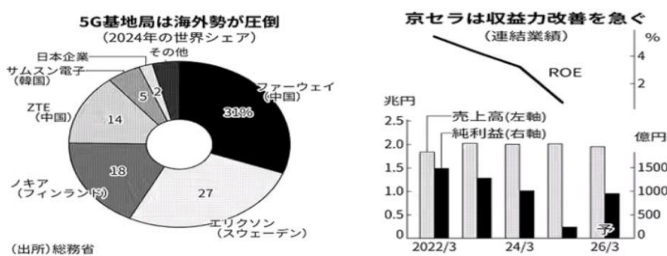
安川電機とソフトバンクはロボットがオフィスなど日常空間で周囲の状況を瞬時に理解し、自律的に働く仕組みを共同で構築する。安川電機のロボット技術とソフトバンクの低遅延通信や端末（エッジ）での情報処理技術を融合。カメラなどから集めた膨大な情報をAI（人工知能）で迅速に処理しながら常に変化する状況进行判断、ロボットで簡単な作業などをこなせるようにする。ロボットと通信の異業種が組み、ロボットを自律的に制御するフィジカル（物理）AIのプラットフォーム（基盤）を構築する。



□京セラ、スマホ「5G」基地局の開発断念 通信網国産化が後退

2025. 12. 3

京セラが高速通信規格「5G」の基地局開発を断念したことがわかった。2027 年をめどに参入する方針を明らかにしていたが、競争環境が激しく採算が見込めないと判断した。基地局関連の開発は電波をつなぐ中継装置などに絞り込む。



□NEC、基地局開発を中止 スマホ向け 日本勢の存在感薄く

2025. 12. 28

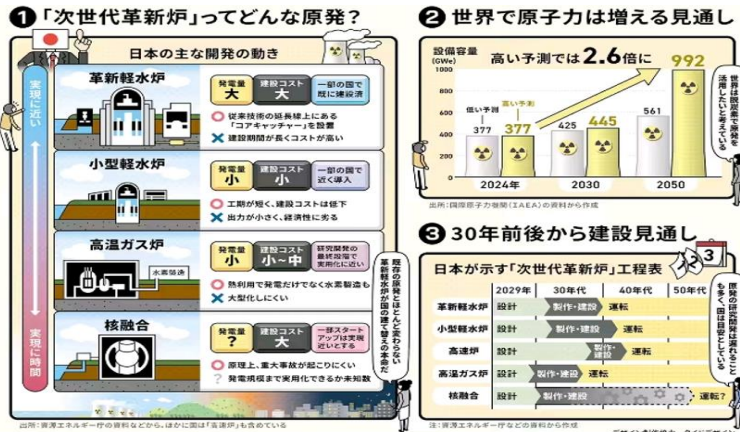
NEC はスマートフォンなど向けの既存通信規格の基地局について機器開発を中止する。ソフトウェアに開発を絞りこむ。防衛分野向けなどの技術や機器、次世代規格向けの開発は続けるが、通信の要となる基地局の国産化は後退する。

■環境/エネルギー/SDGs

□「次世代」の原発 実現は？建設コストや安全性に課題

2025. 12. 2

脱炭素やエネルギー安定供給の観点から原子力発電に注目が集まっている。関西電力は美浜原発（福井県）で原発新設に向けた地質調査を始めた。国は研究開発を支援し、既存の軽水炉の延長から、仕組みがまるで違う核融合までを新型原発の「次世代革新炉」とする。実現は近いのだろうか。



□地熱発電、競争力増す

2025. 12. 6

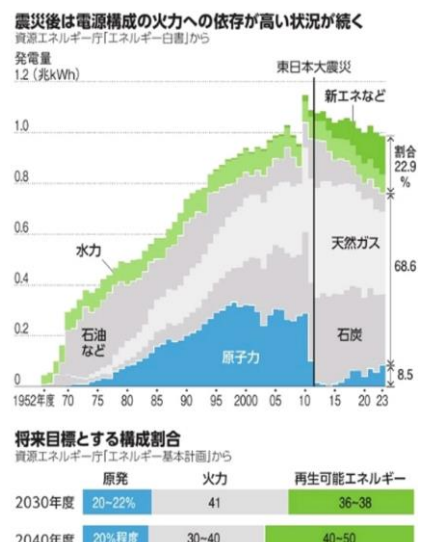
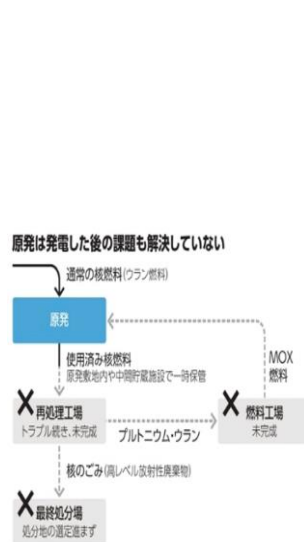
米中心にコスト低下、技術革新進む データセンターの支えに

米国を中心に地熱発電のコストが低下し、エネルギーの中で競争力を増している。シェール石油の掘削方法を応用するなど技術革新が進んだ。風力、太陽光に比べ気象に左右されにくくデータセンター向きとの評価もあり、世界的に発電量拡大への期待が高まっている。

□原発事故15年、エネ政策岐路

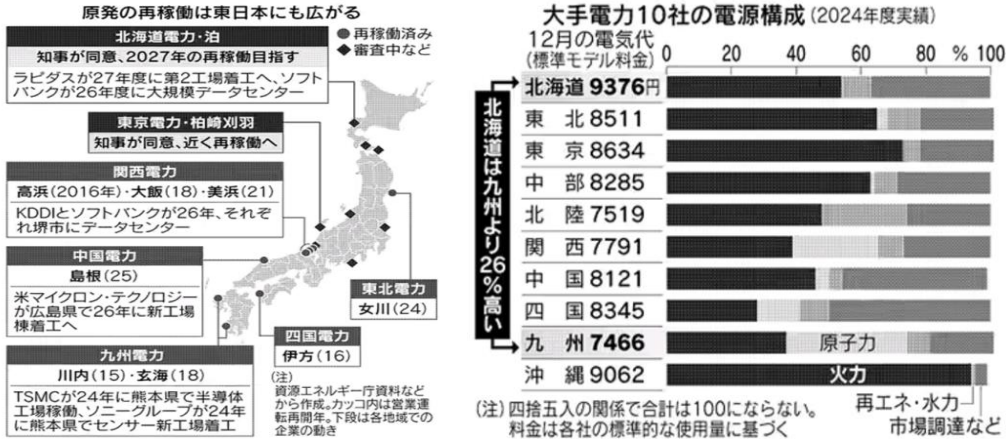
2025. 12. 9

原発再稼働に向けた動きが加速している。11月21日、新潟県の花角英世知事が東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に同意を表明した。県議会での審議を経て、年明けにも福島第一原発事故以来初めて、東電の原発が動き出す見通しだ。11月28日には北海道の鈴木直道知事が、北海道電力泊原発の再稼働容認を表明。2027年にも再稼働する可能性が出てきた。原発は西日本を中心にすでに14基が再稼働し原発回帰の流れが強まりつつある。



□産業誘致、電源が左右 半導体企業・データセンター、電力価格や質を重視 2025. 12. 11

北海道に弾み泊原発の再稼働に道筋がついたことで、北海道は今後、産業集積に弾みがつく期待が高まる。全国各地の原発の稼働状況は産業誘致を巡る競争力を左右。火力への依存度が低い九州は電力料金が安いことで半導体企業やデータセンターの進出につながっている。



□核融合で日米欧連合誕生、米国参加の好機生かせ ITER 遅れ挽回を 2025. 12. 28

核融合の研究開発で日米欧連合という画期的な枠組みが誕生した。国の核融合実験施設「JT-60SA」に米企業と大学が先端のプラズマ計測装置などを提供することが決まった。核融合に熱心な欧州はこれまでも研究に参加してきたが、米国は初めてだ。日米欧の枠組みが原型炉、実証炉建設でも続けることができるかが、核融合発電実現の成否を握る。

■企業動向、製品動向

□米メディア産業、新旧交代 ネットフリ、ワーナーのみ込む 動画配信主流に 2025, 12, 7

米動画配信大手ネットフリックスは5日、米メディア大手ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーの主要事業を720億ドル(約11兆1700億円)で買収すると発表した。ネット配信企業がハリウッドの老舗映画スタジオをのみ込む構図はコンテンツ産業の主役交代を象徴する。再編に反発し米政権が介入する可能性も残る。

米ハリウッドの映画5大メジャーで再編が加速

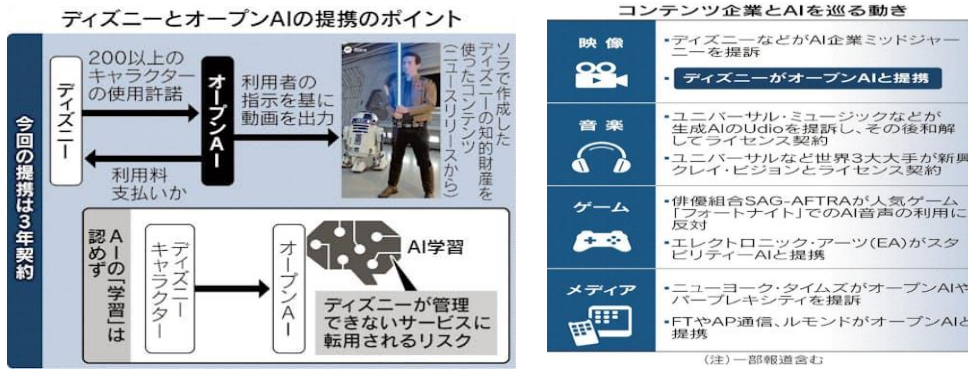
順位	スタジオ	資本関係
1位	ワーナー・ブラザーズ	ネットフリックス傘下入りへ。親会社WBDがテレビ局のHBOを保有
2	ウォルト・ディズニー	ピクサー、マーベル、ルーカスフィルム、20世紀スタジオを持つ
3	ユニバーサル・ピクチャーズ	コムキャスト傘下。アニメのドリームワークスなど持つ
4	ソニー・ピクチャーズ	ソニーGが親会社。コロムビア・ピクチャーズなど保有
5	パラマウント・ピクチャーズ	8月に合併したパラマウント・スカイダンスが親会社

(注) 順位は米映画配給会社の2025年の北米興行収入。
出所はThe Numbers、5日時点

□キャラクター産業、転換点 ディズニーがオープン AI と提携 2025. 12. 13

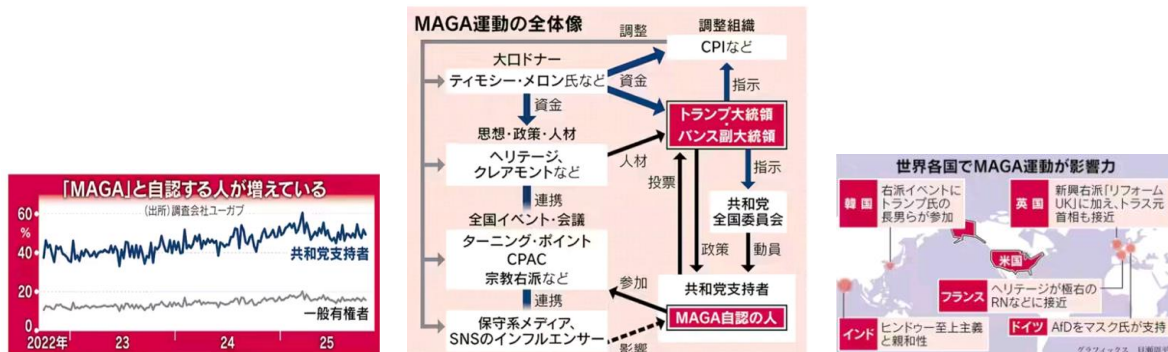
AI から対価、共存へ 動画生成への利用認める
日本勢、対応後手に 収益確保 仕組み作り必須

米ウォルト・ディズニーは11日、米オープン AI と資本提携すると発表した。動画生成 AI「Sora(ソラ)」でキャラクターを自由に使えるようにする。AI から対価を得る新たなビジネスモデルをつくる。ソラに対し使用不許可の姿勢をとってきたが、共存へと百八十度戦略転換した。



「AI の著しい成長を認識した。ビジネスモデルの破壊を含む変化が起きるなら、乗り遅れないように有利な方法を模索すべきだ」。ディズニーのボブ・アイガー最高経営責任者（CEO）は11日、米 CNBC に出演してオープン AI との提携の理由を説明した。ディズニーはオープン AI に10 億ドル（約 1550 億円）を投じて提携し、3 年間のライセンス（使用許諾）契約を結ぶ。ディズニーやピクサー、SF 映画「スター・ウォーズ」など 200 以上のキャラクターを「ソラ」で出力できる。

□トランプ運動 MAGA の未来 国民 15%「担い手」、欧州・アジアに触手 2025. 12. 21
トランプ米大統領の代名詞である「MAGA=Make America Great Again（米国を再び偉大に）」が米国を席卷しておよそ 10 年になる。いまや様々な団体や人材、思想、資金が絡み合う巨大な政治運動に発展した。他国の政治にも影響を及ぼしており、MAGA 運動の未来は米国のみならず世界の行く末を左右する。



□カリスマ創業者が突然退場、ニデック永守氏辞任 内部管理改善なるか 2025. 12. 19
ニデック創業者の永守重信氏が経営の第一線から退く。19日付で代表取締役を辞任し、非常勤の名誉会長に就いた。創業から半世紀で売上高2兆円企業を築き上げた永守氏は「今後の経営は岸田光哉社長にすべて委ねる」とのコメントを発表。不適切会計を巡る第三者委員会の調査が進む中で、突然の退場となった。内部管理体制の改善に実効性を持たせることが必要になる。

□原価高騰、「100均」岐路に 300円店拡大や内容量減 2025. 12. 20
ダイソー、米国出店5倍超 セリアは包装材を見直し円安と資源高を受けて「100円ショップ」が経営戦略の岐路に立っている。内容量を減らす、中心価格帯が300円と高価格店を増やすなど知恵を絞る。100円ショップはデフレ下の1990年代以降に消費者の支持を集め成長してきた。コスト高で収益が圧迫される中、各社は新たな成長戦略を描くのに苦慮している。

内容量が減った品目			
ダイソー		キャンドゥ	
洗濯ばさみ (個)	30 (▲10)	A4クリア ファイル(枚)	30 (▲10)
せっけん (グラム)	100 (▲146)	せっけん (グラム)	90 (▲60)
トイレ用 クリーニング シート(枚)	46 (▲4)	トイレ用 クリーニング シート(枚)	40 (▲10)
綿棒(本)	200 (▲20)		
軍手(双組)	3 (▲1)		

(注)取材を基に作成。▲は減

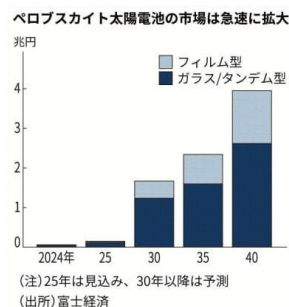
□「100 円ローソン」を小型スーパーに転換 原料・人件費高騰で採算悪化 2025. 12. 24

ローソンは低価格業態を手掛ける子会社ローソンスストア 100 の一部店舗を小型スーパーに転換する。2026 年春から約 600 店舗の一部を順次改装し、新規出店を含めて 30 年までに 100 店を小型スーパーにする。インフレ下で原材料費や人件費が高騰し低価格業態は採算が厳しい。購入頻度の高い生鮮品や総菜の品ぞろえを増やし収益を改善する。

□日本板硝子、ペロブスカイトで再浮上へ

2025. 12. 24

世界 30 社・団体と接触 ピルキンソンの技術活用



英ピルキンソンの技術を活用してペロブスカイトの基板分野に参入する

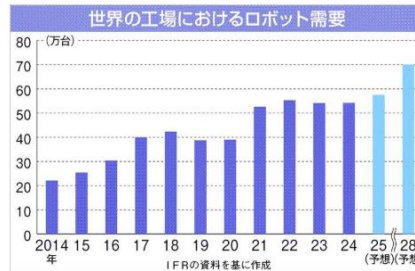
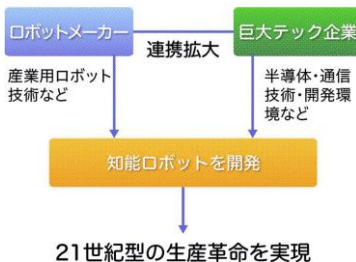
日本板硝子がペロブスカイト太陽電池向けのガラス基板の分野に参入する。2006 年に買収した英ピルキンソンの技術を活用する。世界の研究機関やメーカーなど約 30 社・団体にサンプルを送っている。同社はこれまで米太陽光発電パネル大手のファースト・ソーラー向けにガラス基板を手掛けてきた実績がある。一般的にガラス基板は、一度完成したガラスを温め直して電極となる導電膜を形成する工程が必要となる。同社は高温に溶けたガラスを伸ばす工程で、ガス状の原料を吹き付けて導電膜を形成することで工程数を削減する。ピルキンソンが持つ「オンラインコーティング」技術の採用で、低コストでガラス基板を大量生産できるようにする。

■ A I、生成 A I

□ロボに知能、世界を変革 AI 時代、主役はハード

2025. 12. 3

知能ロボット開発へ連携拡大



A I（人工知能）の急速な進化を経て、巨大テック企業が安川電機やファナックなど日本が誇る大手ロボットメーカーに急接近する。A Iという頭脳と、ロボという身体が車の両輪としてかみ合い始めた。両者は知能を持ったロボが製造現場で人間のように判断しながら働く未来を思い描く。ヘンリー・フォードが「T型フォード」の生産で20世紀の産業地図を塗り替えたように、今100年に1度の生産革命が起きようとしている。

□ファナック、AI ロボで協働 口頭指示を理解、止まらず人を避けて運搬

2025. 12. 15

ファナックがロボットに人工知能（AI）を組み込んだ。人の言葉をもとに動いたり人を避けながら作業を続けたりする機能を開発した。米半導体大手エヌビディアと提携した。



ファナックのA Iロボットは人をよけながら箱を運んだ

口頭で指示すると
順番通りにサイコ
ロを積み上げた



□日立、工場作業にヒト型 AI ロボ 人間の動作学習

2025. 12. 18

中国製依存にリスク日立製作所は2027年度までにヒューマノイド（ヒト型ロボット）を自社工場に導入する。

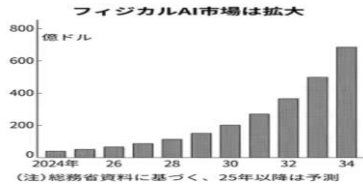
頭脳となる人工知能（AI）を独自開発し、電子機器の配線の組み付けなどの複雑な作業を人間に代わって担わせる。ヒト型ロボット分野の事業強化に向けて、将来的には他社への導入を視野に入れる。中国や米国が開発で先行するなか、国産技術の開発を急ぐ。

主なヒト型ロボットの開発企業・団体

日本	日立製作所	配線の組み付けなどを担える試作品を開発。27年度までに自社で導入
	早稲田大学や村田製作所など	部品や半導体メーカーが技術を持ち寄り、27年中の量産を目指す
米国	テスラ	開発中のロボ「オプティマス」を自社工場に導入
	フィギュアAI	独BMWの工場に導入。最新型の「Figure 03」は家庭向けの用途も想定
中国	優必選科技（UBテック）	BYDなどの自動車メーカーが採用
	宇樹科技（ユニツリー）	ダンスなど滑らかな動きが可能

□ロボ向け国産 AI 開発、経産省 1 兆円支援ソフトバンクなど新会社構想 2025. 12. 21

国産 AI (人工知能) 開発に向けて官民が連携する。ソフトバンクなどの日本企業十数社が来春にも新会社を設立する構想があり、経済産業省が 5 年間で 1 兆円規模の支援を計画していることがわかった。ロボットや機械を AI で制御する「フィジカル AI」に不可欠な基盤モデルを国内勢で構築する。



□AI、研究開発で巻き返し 政府初の計画、投資は米の 30 分の 1 データ信頼性を強みに 2025. 12. 24

政府は人工知能 (AI) の開発・利用に関する基本計画を初めて策定した。日本が世界に出遅れている現状を認めた上で、産業・研究分野で質の高いデータを持つ日本の強みを生かして「信頼性の高い AI」の開発をめざす。

日米中のAI投資・利用の比較

米 国	中 国	日 本
企業の生成AI利用率 (2025年)		
90.6%	95.8%	55.2%
政府のAI関連投資 (19~23年)		
3290億ドル	1330億ドル	100億ドル
AI関連の計画		
AIアクションプラン (25年)	AIプラス行動の徹底 (25年)	AI基本計画 (25年)
AIの輸出や技術革新で競争に勝つと提唱	科学技術、産業など6重点分野とAIを融合	質の高いデータをいかに「信頼」できるAIをめざす

(出所) 総務省、内閣府のデータ、米生成AI開発企業 (AIPRM) のデータから作成

■その他

□2025年 新語・流行語大賞 2025. 12. 1

現代用語の基礎知識 選「2025 T & D 保険グループ 新語・流行語大賞」が発表された、

2025年 新語・流行語大賞

大 賞		
働いて働いて働いて働いて働いて 働いてまいります/女性首相		
エッホエッホ	オールドメディア	緊急銃猟/クマ被害
国宝(観た)	古古古米	戦後80年/昭和100年
トランプ関税	二季	ミャクミャク

2025年 新語・流行語大賞ノミネート語一覧

1 エッホエッホ	16 長袖をください
2 オールドメディア	17 二季
3 おてつたび	18 ぬい活
4 オンカジ	19 働いて働いて働いて働いて働いて 働いてまいります/女性首相
5 企業風土	20 ビジューイじゃん
6 教皇選挙	21 ひょうろく
7 緊急銃猟/クマ被害	22 物価高
8 国宝(観た)	23 フリーランス保護法
9 古古古米	24 平成女兒
10 7月5日	25 ほいたらね
11 戦後80年/昭和100年	26 麻辣湯
12 卒業証書19・2秒	27 ミャクミャク
13 チャッピー	28 薬膳
14 チョコミントよりもあ・な・た	29 ラブブ
15 トランプ関税	30 リカバリウェア

出典:T&D 保険グループ 新語・流行語大賞(2025年11月制作) 

新語・流行語大賞 過去の授賞語

2024年	ふてほど	2017年	インスタ映え
2023年	アレ(A.R.E.)	2016年	神ってる
2022年	村神様	2015年	爆買い
2021年	リアル二刀流/ショータム	2014年	ダメよ〜ダメダメ
2020年	3密	2013年	今でしょ!
2019年	ONE TEAM	2012年	ワイルドだろお
2018年	そだねー	2011年	なでしこジャパン

出典:T&D 保険グループ 新語・流行語大賞(2025年11月制作) 

□「国宝」級の熱狂、消費脈打つ 25 年ヒット商品番付 物価高、エンタメ底堅く
2025. 12. 10

日本経済新聞社は 2025 年の日経 MJ ヒット商品番付をまとめた。東の横綱は 20 年ぶり日本開催となった「大阪・関西万博」、西の横綱は 22 年ぶりに邦画実写の興行収入記録を塗り替えた「国宝」とした。物価高が続くなかでもエンターテインメント分野を中心に消費は底堅く、株高の恩恵もみられた。

2025年ヒット商品番付		
東	横綱	西
大阪・関西万博		国宝
ドジャース連覇	大関	任天堂 [Nintendo Switch 2]
日経平均5万円	関脇	米(コメ)フレーション
劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	小結	LABUBU
インバウンド4000万人	前頭	酷暑商戦
Plaudシリーズ	同	バンダイ [Tamagotchi Paradise]
AIロボティクス[Brighte [SHOWER DRYER]]	同	イタリアン ブレインロット
資生堂「肌グミ」	同	コーセー「コスメデコルテ AQ 毛穴美容液オイル」
小学館「GOAT」	同	ポケモン生態図鑑
花王「ビュオーラ 炭酸ハミガキ」	同	I-ne 再生柔軟剤 [ReWEAR]
スニーカーローファー	同	しまむら [姿勢サポートブラジャー]

明治「生るとき しっとりミルク」	同	串カツ田中 [無限ニンニクホルモン串]
シール交換	同	オアシス再結成
ミスタードーナツ 「もっちりん」	同	麒麟ビール [キリングッドエール]
ローソン車中泊	同	熊撃退スプレー
ケルヒヤー ジャパン [OC Handy Compact]	同	10万円コンテジ
Mrs. GREEN APPLE	同	しなご
ホンダ「プレリウド」	同	ボムバスターズ
中古億ション	同	JR東日本 [高輪ゲートウェイシティ]
技能賞	KDDI[au Starlink Direct]	
殊勲賞	フォーエバーヤング	
話題賞	脱・紙ストロー、王谷晶「ハバヤガの夜」、 柚木麻子[BUTTER]	
残念賞	日本マクドナルド「ハッピーセット」	

(注) 2025年の消費動向や売れ行き、開発の着眼点などを基に
ランク付けした

□2025 年「今年の漢字」は「熊」 各地で出没・被害、パンダ返還も 2025. 12. 12



今年の漢字に決まった「熊」を揮毫（きごう）する清水寺の森清範貫主（京都市東山区）

日本漢字能力検定協会は 12 日、2025 年の世相を 1 字で表す「今年の漢字」が「熊」に決まったと発表した。各地で出没と人的被害が相次いだのに加え、漢字で「熊猫」と表記されるパンダの中国返還にも注目が集まったとした。京都市の清水寺で、森清範貫主が縦約 1.5 メートル、横約 1.3 メートルの和紙に揮毫（きごう）した。

2 位は「米」。米の価格高騰や、米国のトランプ大統領就任などが理由に。1 位とは 180 票差だった。3 位は「高」で、物価高や女性初の首相となった高市早苗氏などが挙がった。

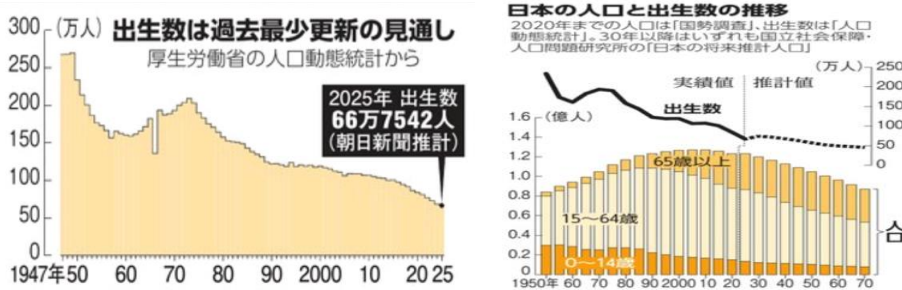
□上野動物園の双子パンダ、1 月末に中国に返還へ 国内でパンダ不在に 2025. 12. 15



上野動物園（東京都台東区）の双子のジャイアントパンダ、シャオシャオ（オス）とレイレイ（メス）について、来年 1 月下旬に中国に返還することが都側の関係者への取材でわかった。現在、日本国内のパンダはこの 2 頭のみ。日本側は新たなパンダの貸与を中国側に求めているが、実現の見通しは立っていない状況で、約 50 年ぶりに国内でパンダが不在となる。

□今年の出生数 66 万 8 千人程度、過去最少更新 朝日新聞推計 2025. 12. 24

2025 年に国内で生まれた日本人の子どもは 66 万 8 千人程度であることが 23 日、朝日新聞の推計でわかった。統計のある 1899 年以降、過去最少で、10 年連続で過去最少を更新する見通しだ。少子化がさらに進行している現状を改めて示している。



□〈アジア発ヒット 東アジア編〉中国発キャラ、世界で浸透 2025. 12. 25

「ラブブ」に熱狂/「ナタ 2」興収歴代 5 位日本経済新聞はアジアの主要国・地域を対象に、2025 年にヒットした商品やサービスをまとめた。中国本土では、中国発のキャラクター「ラブブ」のグッズがはやった。東南アジアで人気に火が付き、世界でブームを巻き起こした。

2025年の東アジアのヒット商品・サービス			
商品やサービス	寸評		
中国本土	①「ラブブ」	泡池場国際集団(ポップマート)が手がけるぬいぐるみなどが世界でヒット【写真①】	
	② アニメ映画「哪吒之魔童降世(ナタ2)」	2019年に上映された作品の続編で、世界の興収収入は歴代5位となる159億円に	
	③ DeepSeek(ディープシーク)の生成AI(人工知能)	23年創業の新興企業が開発した生成AI。家電や自動車に搭載され、生成AIが身近なものに	
	④ コスパ外食	出前で低価格競争が起き、高級ホテルは宴会出店。回転寿司(スシロー)には長蛇の列【写真②】	
	⑤ 痛文化	キャラへの愛を表現する「痛車」「痛バッグ」が一般化。金製品「痛金」など独自進化も	
台湾	⑥ AI搭載デバイス	AIを搭載したスマートグラスやスマートフォンの新製品投入が相次ぐ	
	①「ちいかわ」	夏に街をあげて「ちいかわ」のイベントを開催。海外からもファンが駆けつけ経済効果【写真③】	
	② 登壇体育館	香港最大となる5万人収容のスタジアムを含む複合施設として3月に開業	
	③ 映画「九龍城寨之圍城」	24年公開のアクション映画。ロングヒットし、25年5月に映画の世界を覆った邦設展示を設置	
	④ 機動戦士ガンダム	専門店「ガンダムベース」の大型店が25年末に開業し、現地で話題に	
韓国	① ららぽーと台北南港	三井不動産の商業施設。日本の衣類や飲食が人気で、3月の開業後4日間で延べ20万人を集客した【写真④】	
	② 台湾プロ野球	前年の世界大会「プレミア12」優勝が社会現象となり、シーズン観客動員数が初めて300万人を突破	
	③ 映画(96分)	台湾新幹線を舞台にしたサスペンス映画。9月に公開され、25年の台湾映画で興収収入首位に	
	④ 観光列車	日本人にも人気の観光スポット。阿里山林業鉄道で新型列車「森里号」が26年に運行開始予定	
	① アニメ映画「KPOPガールズ! デモンハンターズ」	K-POPをテーマに悪魔と戦う物語で、米ネットフリックスでの再生回数が過去最高【写真⑤】	
韓国	② オリーブヤング	韓国コスメの流行の発信地。25年1〜9月期の売上高は前年同期比21%増で過去最高を更新	
	③ ギリシャ・ヨーグルト	朝食やおやつとして人気。ロッテやブルムウォンなど大手食品メーカーがこぞって参入	
	④ 一人飯	一人しゃぶしゃぶ、一人焼き肉などのチェーン店が増加。高齢化による一人暮らし増加が背景	

(注) ⑤は26年のヒット予想

□2025 年産業界 10 大ニュース／逆風の中探る 持続的成長への道 2025. 12. 25

日刊工業新聞社は2025年の10大ニュースを選定した。1位には関西電力美浜原子力発電所(福井県美浜町)での原発新設に向けた地質調査着手を選んだ。トランプ米大統領による関税発動の影響など日本経済に逆風は吹いたものの、女性首相の誕生や日経平均株価の5万円超えなど“初物”に恵まれた。25年の産業界は物価高などへの対応を図る一方で、大型のM&Aや株式の非公開化など持続的成長に向けた動きも目立った。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 【1位】 関電、美浜原発新設へ地質調査 | 【2位】 日鉄、USスチール買収 |
| 【3位】 ホンダ・日産 統合破談 | 【4位】 株式非公開化 相次ぐ |
| 【5位】 「トランプ関税」発動 | 【6位】 初の女性首相 高市内閣が発足 |
| 【7位】 ノーベル賞 ダブル受賞 | 【8位】 大阪・関西万博、大盛況 |
| 【9位】 ニデック、牧野フライスTOB撤回 | 【10位】 日経平均、5万円超え |
| 【番外編1】 サイバー攻撃猛威振るう | 【番外編2】 NTT、NTTデータ買収 |
| 【番外編3】 トヨタ、ウーブン・シティ開業 | |

□2025 年 電子デバイス産業トピックス

1. **AI 需要が電子デバイス産業全体を牽引、データセンター投資加速**
生成 AI の急拡大により、データセンター、AI サーバー向けデバイス需要が急増。これにより半導体、電子部品、実装技術まで産業全体が底上げ。今後エッジ AI、フィジカル AI の伸長へ。
2. **エヌビディア (NVIDIA) を中心とした AI 半導体の独走**
エヌビディアの GPU (H100/B100 系) は、データセンター、生成 AI、AI 学習・推論の標準デバイスとして事実上の地位を確立。HBM (高帯域幅メモリ) 等の需要を一気に押し上げ。
3. **TSMC が先端ロジック半導体で圧倒的存在感**
TSMC は Apple・NVIDIA・AMD など主要顧客を引き続き囲い込み。先端ロジックは TSMC 一強構造が継続。エヌビディアと共に売上高拡大一途、高収益率。
4. **半導体後工程、先端パッケージ (CoWoS/PLP) に注目**
チップレット化の進行により後工程、TSMC の CoWoS、Samsung の I-Cube など先端パッケージングの重要度向上。ガラスコア基板、RDL、インターポーザー材料への注目度、投資も増加。
5. **ラピダスが「日本の半導体産業復活」の象徴に**
ラピダスは 2 ナノ、北海道・千歳での量産準備を進め、日本の半導体産業再興の象徴的存在に。1.4 ナノ、後工程大型ガラス基板使用についても発表。官民連携による半導体戦略も進展。
6. **地政学リスクによる半導体サプライチェーンの再編と中国の存在感拡大**
米中摩擦が継続する中でも、中国は設計、後工程、パワー半導体、ディスプレイ分野で存在感を着実に向上させている、装置メーカー、材料メーカーも台頭。
7. **AI 向け以外、特にパワー半導体市場の短期調整と中長期成長のギャップ**
AI 向け以外は全般的に軟調。特にパワー半導体は 2025 年に一時的な失速感。J A S M (TSMC 熊本) も低稼働率、第二は計画変更。中長期成長シナリオは維持だが中国台頭にも要因。
8. **ディスプレイ投資、新技術は OLED 集中、XR 向けマイクロ OLED/LED が成長期待**
IT 向け OLED の Apple 製品への搭載スタート、今後成長へ。G8.6 投資。85inch 以上の超大型液晶テレビも拡大 (供給は BOE/ChinaStar/HKC の中国 3 社)。AR グラス市場伸長に期待。
9. **新興製造拠点としてのインドの台頭**
インドは後工程、組立、将来的な前工程を含めた半導体、FPD 製造拠点として急速に注目。政府支援を背景に、中国に代わるサプライチェーン分散先として位置付けられている。
10. **エネルギー・電池分野と地政学が電子デバイス産業に与える影響の拡大**
電子デバイス産業ではエネルギー・電池分野との結びつきが一段と強まっている。核融合、地熱発電も注目。日本ではペロブスカイト太陽電池が政府の支援政策含め成長期待。

図表、写真 の出所一覧 (WEB、電子版を含む)

■ディスプレイデバイス (液晶・有機EL 他)・タッチセンサー・部材

・ 2025. 12. 3 日本経済新聞

■半導体

・ 2025. 11. 30	日本経済新聞	・ 2025. 12. 2	日本経済新聞
・ 2025. 12. 3	日本経済新聞	・ 2025. 12. 2	事業構想マガジン
・ 2025. 12. 8	加工技術研究会	・ 2025. 12. 10	日本経済新聞
・ 2025. 12. 10	日刊工業新聞	・ 2025. 12. 12	日本経済新聞
・ 2025. 12. 13	日刊工業新聞	・ 2025. 12. 16	日本経済新聞
・ 2025. 12. 19	EE times	・ 2025. 12. 18	日本経済新聞
・ 2025. 12. 19	日刊工業新聞	・ 2025. 12. 25	日本経済新聞
・ 2025. 12. 24	MONOist		

■新技術、材料、電池

・ 2025. 12. 2	日本経済新聞	・ 2025. 12. 2	EE times
・ 2025. 12. 15	日本経済新聞	・ 2025. 12. 19	日本経済新聞

■カーエレクトロニクス

・ 2025. 12. 1	日本経済新聞	・ 2025. 12. 18	日刊工業新聞
---------------	--------	----------------	--------

■通信 5G/6G (第5世代/第6世代通信)

・ 2025. 12. 1	日本経済新聞	・ 2025. 12. 1	日刊工業新聞
---------------	--------	---------------	--------

■環境/エネルギー/SDGs

・ 2025. 12. 2	日本経済新聞	・ 2025. 12. 9	朝日新聞
・ 2025. 12. 1	日本経済新聞		

■企業動向、製品動向

・ 2025. 12. 7	日本経済新聞		
・ 2025. 12. 13	日本経済新聞	・ 2025. 12. 21	日本経済新聞
・ 2025. 12. 20	日本経済新聞	・ 2025. 12. 24	日本経済新聞

■AI、生成AI

・ 2025. 12. 3	日刊工業新聞	・ 2025. 12. 15	日本経済新聞
・ 2025. 12. 18	日本経済新聞	・ 2025. 12. 21	日本経済新聞
・ 2025. 12. 24	日本経済新聞		

■その他

・ 2025. 12. 1	テレ朝 News Yahoo news		
・ 2025. 12. 10	日本経済新聞	・ 2025. 12. 12	日本経済新聞
・ 2025. 12. 15	朝日新聞	・ 2025. 12. 24	朝日新聞
・ 2025. 12. 25	日本経済新聞		